

# MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



30th ANNIVERSARY

2023年7月★第146号

## MELONは30周年を迎えることができました ありがとうございます

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク  
(Miyagi Environmental Life Out-reach Network :  
以下、MELON) は、2023年6月に設立30周年を迎  
えました。これまでのご支援に感謝申し上げます。

MELONは、1992年ブラジル・リオデジャネイロ開  
催の地球サミットをきっかけに、地域から地球環境保  
全に寄与するため、みやぎ生活協同組合、宮城県農業  
協同組合中央会、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組  
合連合会、協同組合日専連仙台および企業、団体、研  
究者、そして多くの市民でつくられた環境NGOです。

2023年7月からの1年間、30周年記念事業として、

より多くの方にご参加いただける機会をつくるため、  
講座やイベント等を実施し、30周年記念特設サイトに  
て情報発信いたします。

引き続き、緑と水と食をとおして環境とくらしを考  
え、地域と地球環境の保全に寄与するとともに、市民  
1人ひとりの参加と協力をつなぐことを目的として取  
り組んでまいります。皆様の温かいご支援、ご声援を  
お願い申し上げます。



← MELON30周年記念  
特設サイト



2014年10月ユアスタ仙台エコ体験ブース



2015年10月秋の森で遊ぼう！



2018年10月荒浜海岸ゴミ調査

**MELONとは** 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク—通称『MELON』。  
1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水  
と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、  
知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を  
守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

### MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
  - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
  - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
  - MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
  - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

### Index

- P1 MELONは30周年を迎えることができました  
ありがとうございます
- P2 第27回MELONフェスタ開催報告①
- P3 第27回MELONフェスタ開催報告②
- P4 部会だより
- P5 かんきょう見聞記/目指せ100人!環境リレートーク
- P6 ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.99
- P7 MELON会員団体訪問記 第11弾
- P8 会員ひとこと〜/MELONフォト  
/イベント情報/編集後記

「第27回MELONフェスタ」は、MELON30周年記念事業のキックオフイベントとして開催しました。たくさんの方々にSDGsのこと、みやぎの環境の魅力やMELONの活動内容について知ってもらおうと、MELONの人気講話をぎゅっと凝縮したステージや、へちまたわし作りワークショップやクイズラリーなどをご用意。

ご来場くださった皆様、ご出展くださった企業・行政の皆様、設営運営に協力してくださったボランティアの皆様、ありがとうございました！



総合司会・モデレーター  
渡辺祥子さん



講師  
みやぎの海のお話  
廣澤一浩さん



ステージの観客席の様子



みやぎの森のお話 講師  
親川麗子さん



みやぎの食のお話 講師  
三浦隆弘さん



MELON30周年記念トーク



キリバスのお話 講師  
ケンタロ・オノさん



南極のお話 講師  
石井洋子さん

【参加者数】 延べ378名

- ・ステージプログラム (5つ合計) 104名
- ・へちまたわし作り 96名
- ・クイズラリー 84名
- ・メロンが当たる抽選 43名  
(会員10、非会員33)
- ・MELON役員 15名
- ・MELONスタッフ・ボランティア 36名



尚納学院大学の学生ボランティアも活躍



開場直後に賑わう受付



株式会社エフピコの出展ブース



みやぎ生活協同組合の出展ブース



仙台市環境局の出展ブース



MELONみやぎ里山応援団



MELON水部会



大人気のへちまたわし作りワークショップ



宮城県地球温暖化防止活動推進員も活躍

おさかなクイズラリーへの参加特典



「古今東北」ブランドの海産物を1つプレゼント  
(提供：みやぎ生活協同組合)



選べる来場者プレゼント  
(左) グリーンカーテンの種  
(右) 宮城県産自家栽培ローリエ

## 部会だより～水部会主催 「水環境学習における指導者向け入門講座」 報告

日 時：2023年3月28日（火）10：15～15：00  
 場 所：【午前】東北工業大学一番町ロビー2F ホール  
 【午後】広瀬川壺屋橋下流河川敷  
 参加者：15名  
 内 容：①水環境問題のトピックスとそのしくみ  
 講師 石橋良信氏（東北学院大学名誉教授）  
 ②水質調査・水生生物の調査方法の実践  
 講師 山田一裕氏（東北工業大学教授）

前半は講師の方々から、環境基本法という法律や、河川・湖沼・海域ごとに設けられた基準により私たちの生活環境が保たれているというお話がありました。「きれ



川辺

いな水の生物」「きたない水の生物」といった子どもも興味を持ちそうなスライドを交えての盛沢山

な内容でした。水環境の保全はその管理指標や基準値の理解に加え、生活者みんなで守っていく必要があるのだと感じました。後半は、水質調査の基本を学び、広瀬川で実践。容器は必ず共洗いする、調査項目によっては水温が大きく影響するので、試薬を入れた水は直射日光に当てない等に注意しながら、標準色と呼ばれるシートを見ながら数値を記録しました。講座を通じて、水質調査と水辺観察の基礎から実践まで学ぶことができ、同時に、河川での活動における参加者の安全確保の重要性が分かりました。



調査

## 部会だより～みやぎ里山応援団 「新緑祭」へのブース出展報告

日 程：2023年4月29日（土）10：00～15：00  
 場 所：仙台市青葉山公園追廻地区

令和5年度の新緑祭は、全国都市緑化フェア仙台の一部として、例年とは異なる会場で開催されました。MELONみやぎ里山応援団は、今年もみやぎ生協と共同でブース出展をしました。出展内容は、活動紹介のパネル展示、樹木当てクイズ、バジルの種とローリエの葉の配布、里山応援団メンバーのフォレストサイクル元樹さんによる木工品販売などです。みやぎ生協は、動物がかじった木の実を展示しました。

天候に恵まれ、緑化フェア期間中初の休日とあって、多くの人でとてもにぎわいました。11種類の樹木を見て触って木の名前を当てる樹木当てクイズは、ヒントカードを用意しましたが、かなり難しいので皆さんなかなか当たりません。里山応援団メンバーが樹木の解説を行いました。伊達武将隊の政宗様もお越しくださ

いました。

全国都市緑化フェア仙台は、6月18日（日）で終了しましたが、仙台市青葉山公園追廻地区は、会場の撤去作業後に芝生の広場になるそうです。



樹木当てクイズ



## 「忘れたいんだ! きっと」

落語篇⑳

三代目桂春團治「鑄掛屋(いかげや)」  
石垣政裕 (MELON 理事)

戦争こそ環境破壊の最悪のものです。だからほんのちょっぴりでも、過去を忘れ去ろうという臭いを感じたら、たとえ意識的でなかったとしても声を上げることは大切なことです。

広島県は被爆樹木1本を県発注の工事で切ってしまった。広島県は発注の時に被爆樹木だということを知らなかったんだそうです(朝日新聞2023年4月20日)。G7の時に、説明役の方はそのことを話題にはしないだろうなあ。

また、広島市の教育委員会が平和教育プログラムの教材から「はだしのゲン」を削除するのだそうです(河北新報2023年2月27日)。この理由が振るっています。浪曲は今の子どもたちの「実態」に合わないのだそうです。であれば、講談も落語も、歌舞

伎だってそうですね。国技の相撲はどうなるのかな？

また、作品の中にある鯉を盗むところは「誤解を与える恐れがある」のだそうです。開いた口をパクパクするしかありません。芥川龍之介の「羅生門」はどうなるかなあ。

ということで、子どもたちの世界を描いた三代目桂春團治の「鑄掛屋(いかげや)」(ビクター落語上方篇1、ビクター伝統文化振興財団、2002年5月)を聞いてみましょう。鑄掛屋は鍋や道具などを直していた職業です。フィゴを吹いて金属を溶かして、鍋・釜の穴を埋めたり、傘を直したり、リユースのための大事な商売だったんです。私も小さい頃まで近所で商売をしていた鑄掛屋さんを興味津々に見ていました。

さて話は、町内の子どもたちが鑄掛屋の周りに集まってきては、悪態をつき、とうとう小便でフィゴの火を消してしまうというもの。悪ガキと鑄掛屋さんの会話が面白い。子どもたちの生き生きとした生活が語られます。たぶん、話し手によって、作品によって、心を動かされるから、初めてその世界を想像することになるんですね。



## 目指せ100人! 環境リレートーク

どんな想いのもとに、どんな活動をしているのか  
寄稿していただいているコーナー。執筆者に次  
の方を紹介していただくリレー形式で、環境活  
動の輪を広げていくことを目的としています。



第88人目の執筆者  
小川 真美さん  
(ネイチャークラブ「うみにわ」  
／神奈川県 逗子・葉山)

“自然が好き”で、世界は変わる。

“自然が好き”で、世界を変える。

をモットーに「自然と人のおつなぎ」をしております、小川真美と申します。

自然に触れること、自然に親しむことで、その人に見える景色は、世界は、一気に変わります。そして、自然と距離が近くなると、「好き」の感覚がうまれ、自然を大事に感じるようになる。自然を守りたくなる。自分も自然の一部とを感じるようになる。自然との共生を目指すようになる。“自然が好き”という

気持ちは、世界を、環境を、地球を、「ポジティブに変える力」をもっている。私はそう信じています。だから、私は自然と人をつなげるため「うみにわ」というネイチャークラブを創りました。

「庭のように海で遊んでほしい」「海で生き物や人との輪を感じてほしい」と願いを込めました。

神奈川県逗子葉山エリアで、磯の生き物さがし、シュノーケル、シーカヤック、ビーチコーミングなど海を中心とした活動を開催していきます。ご興味ある方は、ネイチャークラブうみにわのInstagramをのぞいてみてください。



@UMINIWA\_OFFICIAL

… 次号執筆者紹介 …

深沢大地さん  
(自然案内人)



# ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.99

**ストップ温暖化センターみやぎとは** 宮城県地球温暖化防止活動推進センターの通称「ストップ温暖化センターみやぎ」。2000年にMELONが宮城県知事の指定を受け誕生しました。全国各地の地球温暖化防止活動推進センターは、1998年に制定された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化防止活動の拠点として、各都道府県知事や政令指定都市等の市長が指定しています。

## 令和5年度に予定している活動を一挙紹介!

MELONの中に設置されている宮城県地球温暖化防止活動推進センター（愛称：ストップ温暖化センターみやぎ）は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、2000年5月22日に宮城県知事の指定を受け誕生しました。世界で「脱炭素」が求められている中、主に地域で地球温暖化防止に向けて日々がんばって活動をしています。

ストップ温暖化センターみやぎは今年で23年目を迎え、地球温暖化対策のための普及・啓発並びに行動変容の後押しを、下記の事業をもとに推進していきます。

### 1. 地域における地球温暖化防止活動促進事業

- ①みやぎのSDGs 環境講座開催
- ②日本とキリバス共和国のユース交流支援
- ③事業者の脱炭素経営に繋がる基盤整備事業
- ④宮城県地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員）の活動支援等

### 2. みやぎのSDGs 環境学習支援

- ①SDGs 環境出前講話：40校予定
- ②SDGs教育プロジェクト：5校予定

### 3. うちエコ診断

家庭の省エネ・省CO<sub>2</sub>アドバイスの実施：130件診断予定

### 4. 推進員新規募集及び養成研修

令和6年度に委嘱される推進員の募集及び養成研修の開催：20名募集予定

上記の内容以外にも地域の環境イベントへの出展や講師派遣等も行っていく予定です。

「地球温暖化について最新情報やデータが知りたい」「私に何ができるのか知りたい」という方はぜひストップ温暖化センターみやぎにご連絡下さい!

TEL：022-301-9145

E-Mail：stop\_gw@miyagi.jpn.org



講師派遣も実施中!



今年度もいろんなところで診断します!

## 推進員だより No.35

### 新たに16名の推進員が委嘱されました!

新型コロナウイルスの影響により中止になっていた宮城県地球温暖化防止活動推進員の委嘱状交付式が4年ぶりに開催されました!

今年度は新たに16名の推進員が委嘱され、宮城県の推進員は全85名となりました。今後はイベントや講座など様々な場所で活躍してくれるでしょう!



委嘱状交付の様子。身が引き締まる思いですね!

## 三浦農園～市民運動とつながる農業～ MELON 会員団体訪問記 第11弾

宮城県名取市に古くからあるセリ農家集落で、400年前から農業を営む三浦農園。代表の三浦隆弘さん(MELON 理事)にお話を伺いました。



三浦隆弘さん

### セリ鍋の誕生秘話

「お正月前後の2週間くらいはセリの価格も上がります。その間にできるだけ多く販売することを優先しすぎると、セリの美味しさと鮮度が犠牲になる場合もあって。」と三浦さん。

三浦さんは、今では宮城県内外ですっかり定着した『セリ鍋』の発案者でもあります。

「1980年代にテレビで放映されていたビールのCMを見て、これだ！と思いました。そのCMにはビールとセットで、きりたんぼ、マイタケ、鍋スープ、セリが並べられていて、きりたんぼ鍋がブームになって、秋田のきりたんぼ美味しいね、と言いながらみんなで名取のセリを食べていたんですよ(笑)。それで、食べていくうちに、名取のセリをちゃんと評価してほしいなど。」

三浦さんによると、セリが一番おいしいのは3月中旬から下旬ぐらいで、商品の旬ではなく、野菜の旬を食べてほしい、産地の近くで食べてほしい、地元資本のお店で食べてほしいという3本柱で言い続けています。

「宮城にしかないものって何があるんだろうと。2011年に東日本大震災があって、助けてくれた人たちを、地元の食材でもてなしたい気持ちとセリ鍋がうまくハマったんですね。」

三浦さんは、セリ鍋を利権化するのではなく、むしろ

開いていって、地元資本にお金を落とすことが大事と言います。セリは教材であり、みんなでセリを作ってみることで食べることにより、地元の施設の充実や予算につながることをMELONの活動でお世話になっている方々から学んだそうです。

「コスト幾らで売り上げは・・・と、計算だけに偏ってしまわないよう、お米をいっぱい食べたらゲンゴロウが何匹助けられるという観念的な情緒的な話ができるような引き出しを作らせてもらったのはMELONで学んだところなんです。農家が一生懸命にセリを作るこの意味というか。市民運動とつながっているんですね。」

地元の素材をローカルプライドとして、価値を掘り起こして、地元の人々の心の隙間を埋めるというのが、三浦さんがこれまで取り組んできた本筋とのことでした。

### 地球温暖化と生態系を作る農業

三浦さんによると、約20年前の就農当時と比べ栽培計画が3週間くらい早まっているそうです。

「耐えられるかどうかは、農家のこれからの技術にかかっていると思います。いかに観察力を高められるか。農学の知識を総動員して、生態系をつくるのが現代の農業。毎年いろいろな技術や発見や知見が出てくる。学び直しが本当に面白いです。」

自らをアクティビストと呼び、市民運動と環境と農業のバランス感覚を大切にしている三浦さん。生態系をつくるという考え方で営まれる三浦農園。

宮城県の名物となったセリ鍋は、三浦さんがMELONで活動しなければ生まれなかったのかもしれない。取材を通して、MELONの30年間の歩みの一部分を垣間見ることができました。

(MELONのHPより「MELON 会員  
団体訪問記 第11弾」のフルバージョン  
記事がご覧いただけます。)



↑ MELON 会員  
団体訪問記

- 三浦農園／宮城県名取市下余田  
セリをはじめとした在来作物を栽培する農家



# 会員ひとこと〜

会員の皆さんの環境への思いやイベントに参加しての感想を声にしていきます。

次の30年も素晴らしい活動になりますように！  
P.N 匿名

## MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

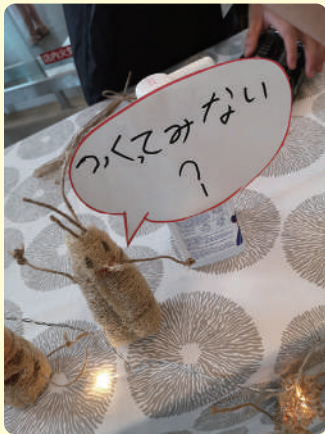
イベント一覧 (7月～10月まで)

7/13 (木)	水部会例会
7/16 (日)	サイエンスデイ
7/20 (木)	情報センター例会
8/30 (水)	ワケルくんバスツアー 「ごみのゆくえを見てみよう」

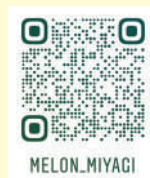
## 『MELON フォト』



7/8 (土) IKEA 仙台にて実施したうちエコ診断会 & へちまたわし作りワークショップの様子 (参加者の作品)。



MELON  
インスタグラムも  
フォローよろしく  
お願いします!



## ご寄付・会費のお支払いの際に、 オンライン決済が できるようになりました



※ Syncable というファン  
ドレイジングサービスサ  
イトにつながります。

<https://syncable.biz/associate/melon>

会費のお支払いに、ぜひクレジットカードをご利用ください!

※ご寄付のみ Amazon Pay もご利用いただけます。

※5年会員の方は、ご利用いただけません。

MELON 情報紙のバックナンバーは  
MELON ウェブサイトにて PDF で公開  
しております。



## 編集後記

■庭の小さな畑に堆肥を入れて耕しました。そこに、何を植えるか  
思案中です。7月にはある程度成長していることを願っています。  
(亀崎)

■子どもたちがだんだん大きくなり二人で遊べるようになってきた  
ので、この夏はペランダで水遊びなど楽しむ予定です。(小山田)

### 〈会員状況〉

459名  
法人 54  
任意団体 7  
個人 398  
2023年6月9日現在

### ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分の MELON 協力商品券と交換できます。



### MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、(株)日専連ライフサービスで発行している商品券です。金額の一部が MELON に寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になれます。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network  
〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail [melon@miyagi.jp](mailto:melon@miyagi.jp) URL <https://melon.or.jp>

落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。



この印刷物は、  
輸送マイルージ低減による CO<sub>2</sub> 削減や  
地産地消に着目し、国産米ぬか油を  
使用した新しい環境配慮型インキ  
「ライスインキ」で印刷しており、  
⑥ 印刷用紙へのリサイクルが可能です。